

2022（令和4）年度
吉野作造記念館
年報



吉野作造記念館

指定管理者 NPO 法人古川学人

ごあいさつ

コロナ禍は4年目を迎えました。当館も昨年度は引き続き感染対策を行いつつ、講座・講演会などについては徐々に対面形式へ戻すなど、ポストコロナへと歩み始めました。依然としてご不便をおかけしてはおりますが、皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。

この1年は、吉野作造の学校教育での活用を一段と進めるべく取り組んでまいりました。以前より実施していた吉野作造パネル展は大崎市立の全小・中学校を巡回しました。並行して、未来の主権者を育てる絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』の原画展・パネル展、読み聞かせ会を市内および県内各地で開催し、普及に努めています。また2022年4月より、大崎市立古川第一小学校、大崎市立古川中学校の2校を「吉野作造教育実践研究指定校」として、授業や教材に関する協力を行っています。古川第一小ではこの3月、絵本を題材とした道徳の授業も行われました。今後とも、各校さまざまな形で活用を期待したいところです。

近年、地域の歴史を伝える文書資料（アーカイブズ）の重要性と、その保全・継承が叫ばれています。当館も吉野作造関係資料にとどまらず、多くの地域文書資料を預かる立場にあることから、市民の皆様にご理解を高めさせていただく新たな取り組みとして、大崎の地域史料をみずから読解・調査する「市民学芸員」企画を開始しました。第1回は大崎市指定文化財「加藤家文書」を題材に資料翻刻や解説の執筆を行い、後期企画展「我が町おおさきの歴史・文化（第1回 戦争篇）」にてその成果を発表しました。また当館職員においても国文学研究資料館主催のアーカイブズ・カレッジに参加するなど、文書資料に関する専門的知識や技能の習得・向上に努めています。

資料収集については、吉野作造ご令孫の上田雪子氏より、新たに多くの貴重な資料をご寄贈頂きました。この内「小松清氏旧蔵明治文化研究会関係資料」は、明治文化研究会の機関誌『新旧時代』『明治文化研究』の編集資料であり、吉野をはじめ主要な会員の原稿やゲラなどを多数含んでいます。同会の実態を知る上で非常に有益な資料と言えるでしょう。

当館を支えてくださる大崎市民、友の会ははじめ多くの皆様、その力の大きさをさまざまな意味で再確認した1年でした。開館30周年の節目も間近です。今年度も引き続きどうぞよろしく願い致します。

2023年5月1日

吉野作造記念館館長 氏家 仁

目次

ごあいさつ	… 1	2. 街づくり（市民社会育成）	…13
施設概要／吉野作造記念館沿革	… 2	3. 未来づくり（次世代育成）	…16
吉野作造記念館指定管理事業 事業報告	… 3	4. 法人創立20周年記念式典	…17
1. 資料収集・整理・保管事業	… 3	事業一覧	…18
2. 展示事業	… 3	入館者・売上／メディアでの紹介	…19
3. 教育普及事業	… 5	アンケート集計結果	…20
4. 調査研究事業・出版事業	… 8	寄贈・購入資料一覧	…21
5. 第8回吉野作造研究賞	…10	寄附者・サポーター等一覧	…24
6. 人材育成事業	…10	吉野作造記念館条例	…25
7. 市民交流・情報発信事業	…11	規則・協定書・要領（URL）／	
NPO法人古川学人事業 事業報告	…12	館利用案内／職員録	…28
1. 人づくり（主権者教育）	…12		

施設概要

名称	吉野作造記念館	
設置者	大崎市（所管：大崎市教育委員会）	
管理運営	指定管理者 特定非営利活動法人古川学人	
敷地面積	8,321.68 m ²	
延床面積	1,725.05 m ²	
事業費	1,070 百万円	
構造	鉄筋コンクリート・平屋建	
主要施設	<ul style="list-style-type: none">・常設展示室・講座室・学習スペース	<ul style="list-style-type: none">・企画展示室兼研修室・資料室（収蔵庫）・休憩ラウンジ

吉野作造記念館沿革

1950年（昭和25）	東京で吉野作造の教え子を中心に吉野博士記念会が結成される。
1962年（昭和37）	古川市（現：大崎市）で市民の顕彰会として吉野先生を記念する会が結成される。初代会長は三浦篤古川市長。
1966年（昭和41）	吉野博士記念会と吉野先生を記念する会が協力し、古川市民会館前広場に「古川学人吉野作造之碑」を建立（現在吉野作造記念館前広場に所在）。
1969年（昭和44）	古川市図書館（現：大崎市図書館）内に「吉野文庫」が開設される。
1978年（昭和53）	吉野作造生誕100周年メダルが発行される。
1990年（平成2）	古川市市制施行40周年・国会開設100年を機に「吉野作造記念館」建設の気運が高まり、（仮称）吉野作造記念館建設委員会設置。
1994年（平成6）	記念館建築工事完了。吉野作造記念館設置条例制定。
1995年（平成7）	吉野作造記念館開館（1月29日）。
1997年（平成9）	天皇皇后両陛下が吉野作造記念館にご来館。
1998年（平成10）	作家の井上ひさし氏が吉野作造記念館名誉館長に就任。
2002年（平成14）	古川市が吉野作造記念館の運営をNPO法人古川学人へ民間委託。
2004年（平成16）	『吉野作造記念館研究紀要』（現：『吉野作造研究』）創刊。
2006年（平成18）	吉野作造記念館が指定管理者制度を導入。NPO法人古川学人が指定管理者となる（～2023年現在）。
2008年（平成20）	第1回吉野作造研究論文公募事業（現：吉野作造研究賞）。
2013年（平成25）	『吉野作造記念館所蔵資料目録（2012年度版）』刊行。
2015年（平成27）	開館20周年記念式典が開催される（於大崎生涯学習センター）。
2016年（平成28）	NPO法人古川学人が、高等学校などを対象としたシティズンシップ教育事業を開始する。 吉野作造記念館所蔵資料中54点が大崎市文化財に指定される。
2019年（平成31）	市内5校の中学校・高校と協力し「吉野作造かるた」を制作。
2020年（令和2）	シティズンシップ教育への取り組みを評価され、NPO法人古川学人が明るい選挙推進協会優良活動賞を受賞。 「吉野作造記念館資料の取扱要領」公布・施行。
2021年（令和3）	開館25周年記念事業として、親子で学ぶ主権者教育のための絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』を刊行。
2022年（令和4）	NPO法人古川学人創立20周年記念式典が開催される。

2022（令和4）年度吉野作造記念館指定管理事業 事業報告

1. 資料収集・整理・保管事業

(1) 収集・保存

・2022年度新規収蔵資料：103点

寄贈資料85点（※資料群は1件で1点とする） 購入資料18点

2023年3月15日 新規資料台帳を大崎市教育委員会に提出。

収蔵資料登録総点数：8,039点（2023年3月15日現在）

・2022年度寄託資料（2022年4月1日～2023年3月31日）：24点

(2) 環境の保持

展示室・収蔵庫の温湿度管理および定期的な清掃、昆虫調査など。

2. 展示事業

(1) 常設展

展示替え：2022年6月1日（水）、12月1日（木）の2回実施。

(2) 前期企画展「吉野作造と宮城県尋常中学校の仲間たち」

宮城県尋常中学校（現：宮城県仙台第一高等学校）初代校長にして国語学者の大槻文彦（1847～1928）や同窓生、恩師との関係を軸に、吉野作造の学問・思想の原点となった同校での青春時代を紹介する展示。1892年、宮城県初の旧制中学校として開校した宮城県尋常中学校の最初の新1年生の一人が吉野作造である。吉野たちは地域の期待を背負い学問に励む一方、新設の学校で安穩とせず、それぞれ自分自身の進むべき道を模索していた。折しも2022年は18歳成人元年であり、多くが高校など中等教育機関在学中に成人を迎える現代の若者たちに、130年前の先輩たちが自分の将来や日本、世界についてどう考えていたかを知ってもらうことを期待した。展示資料は、大槻文彦や子の茂雄あて吉野書簡（一関市博物館所蔵）、大槻ら恩師を吉野ら教え子が囲んだ際の寄せ書き（仙台一高所蔵）など計66点。関連企画として仙台一高生徒に招待券を配布。また仙台一高开校130年記念企画として本展示の一部を同校で展示。



会 期：2022年7月24日（日）～9月25日（日）

会 場：吉野作造記念館企画展示室

来 場 者：886名（有料206名、無料680名）

協 力：一関市博物館、宮城県仙台第一高等学校、宮城県仙台第一高等学校同窓会

後 援：大崎市、大崎市教育委員会

関連行事：記念講演会「中学生吉野作造と大槻文彦校長」

仙台一高OBでもある後藤斉氏は、東北大学大学院文学研究科（言語学）で長年教鞭をとられてきた傍ら、吉野作造とエスペラントの関わりなどについての研究もある。洋学を学問の出発点とした大槻文彦の国語学者にとどまらないマルチな面、旧仙台藩士としての思い、吉野作造に与えた学問的な影響についてお話いただいた。

講 師：後藤斉氏（東北大学名誉教授）

日 時：2022年8月21日（日） 14:00～16:00

会 場：吉野作造記念館研修室

来場者：57名

(3) 後期企画展「我が町おおさきの歴史・文化（第1回 戦争篇）」

大正デモクラシーを牽引した吉野作造の業績を大崎市の歴史・文化の中に位置づけて評価するため、大崎市の近現代史をテーマにした企画展の第1回。今回は近代史の中でも市民生活に特に大きな影響を及ぼした戦争をテーマに、合併前の旧一市六町の市町村史編纂事業の成果を踏まえ、郷土資料を通じて大崎の歴史全体を紹介した。また吉野作造と戦争の関わりも紹介。さらに一部の展示制作を市民参加型で行い、自治体の歴史・文化と、それを伝える文書資料について、より身近に感じながら知ることのできる機会とした。展示資料は、戦時中の大崎市荒田目地区の回覧板（大崎市文化財「加藤家文書」）など計57点。また、記念館所蔵の地域の古写真を公開し、知っていることや感想を自由に書きこむことができるコーナー「宮城・大崎むかしの写真館」や、会期中に提供された古写真を随時公開するコーナーを設置した。



会 期：2023年1月29日（日）～3月26日（日）

会 場：吉野作造記念館企画展示室

来場者：867名（有料227名、無料640名）

後 援：大崎市、大崎市教育委員会

関連行事：記念講演会「大崎市内小学校の資料調査から—中間報告—」

講師の大平聡氏は学校日誌など学校資料の調査研究に長年携わっている。今回はその中でも大崎市内の小学校の資料から、関東大震災や戦時中の記録などを紹介していただいた。同時に、学校資料の保存と継承に向けた課題についてもお話いただいた。

講 師：大平聡氏（宮城学院女子大学教授）

日 時：2023年2月25日（土） 13:00～15:00

会 場：吉野作造記念館研修室

来場者：42名

(4) ミニ企画展

吉野作造記念館廊下を会場とした無料展示。

- ・写真展「明治・大正・昭和の古川の風景」（通年）
- ・「かるたで学ぼう吉野作造」（通年）

(5) 電子展覧会

吉野作造記念館ウェブサイト上で電子展覧会「大正デモクラシーの旗手 吉野作造」を公開している。「写真と遺品資料で見る宮城・大崎の先人 吉野作造」「わたしたちの先輩・吉野作造」の2種類を公開中。

(6) 他館・他施設への資料貸出

- ・阿部次郎記念館新規資料及び法文学部開設関係資料公開展示「阿部次郎と法文学部」

貸出資料：吉野作造原稿「理想主義の立場の鼓吹—阿部次郎君の『人格主義』を読みて—」

主 催：東北大学大学院文学研究科、東北大学史料館

会 期：2022年9月29日（木）～12月23日（金）

会 場：東北大学史料館

- ・「吉野作造と宮城県尋常中学校の仲間たち」展

貸出資料：写真パネル9点、解説パネル11点

主 催：宮城県仙台第一高等学校

会 期：2022年10月17日（月）～11月9日（水）

会 場：宮城県仙台第一高等学校図書室

- ・大崎市民ギャラリー企画展「『顔』の美術館—あの人、この人…さまざまな肖像表現」

貸出資料：佐藤一郎画「吉野作造像」、白鳥兵一画「吉野作造像」他2点

主 催：大崎市教育委員会

会 期：2022年12月2日（金）～12月18日（日）

会 場：大崎市民ギャラリー緒絶の館第1・2・3展示室

来 場 者：371名

3. 教育普及事業

(1) 小中学校巡回展

吉野作造の業績やエピソードをわかりやすく紹介するパネル展「わたしたちの先輩・吉野作造」を実施。パネルは小学校向け、中学校・高校向けの2種類。

2022年度は、1年をかけて大崎市立の小・中学校全33校を巡回して開催した。

- ・関連行事：出前講座（大崎市立鳴子小学校6年生）

講 師：小嶋翔（吉野作造記念館主任研究員）

日 時：2022年11月30日（水） 10:50～11:35

会 場：鳴子小学校

参加者：10名



(2) 吉野作造市民大学講座

吉野作造の思想や業績、歴史・社会・文化など幅広いテーマの講座・ワークショップ。

- ・憲法記念日講演会「日本国憲法における立憲主義と天皇制」

講 師：佐々木弘通氏（東北大学教授）

日 時：2022年5月3日（火） 14:00～16:00

会 場：吉野作造記念館研修室

来 場 者：40名

- ・吉野作造基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」（前期全5回、後期全5回）

講 師：氏家仁（吉野作造記念館館長）

日 時：（前期）2022年4月2日（土）、6月5日（日）、7月2日（土）、
8月6日（土）、9月24日（土） 14:00～16:00

（後期）2022年10月1日（土）、11月5日（土）、12月3日（土）
2023年1月7日（土）、2月4日（土） 13:00～15:00

会 場：吉野作造記念館講座室

来 場 者：前期のべ79名、後期のべ69名

- ・学芸体験講座（前期）「資料読解～吉野作造の手紙を読んでみよう」

講 師：佐藤弘幸（吉野作造記念館学芸員）

日 時：2022年5月22日（日）、6月19日（日） 14:00～15:30

来場者：5月22日7名、6月19日8名

・学芸体験講座（後期）「市民で作る企画展」

大崎市に残る貴重な文書資料の読解を通して、地域の歴史や文書資料への理解を深めて頂くことをねらいとした市民参加型の新企画。第1回は、大崎市荒田目地区の戦時中の回覧板（大崎市文化財「加藤家文書」）を題材とした。参加者には「市民学芸員」として読解から翻刻の凡例決め、解説執筆まで取り組んでもらい、その成果は後期企画展「我が町おおさきの歴史・文化（第1回 戦争篇）」で展示。また、『吉野作造研究』第19号（2023年4月発行）に資料翻刻と解説を掲載。



講師：小嶋翔（吉野作造記念館主任研究員）

日時：（1回目）2022年10月19日（水）、10月22日（土） 14:00～16:00

（2回目）2022年12月14日（水）、12月17日（土） 14:00～16:00

参加者：6名

・歴史講座「戦争と地域社会」（全2回）

講師：後藤彰信氏（柴田町文化財保護委員）

日時：2023年3月12日（日）、26日（日） 13:00～15:00

会場：吉野作造記念館研修室

来場者：12日33名、26日17名

(3) レファレンス対応

・吉野作造記念館資料特別利用：14件

・資料調査への対応：1件

(4) 読売・吉野作造賞受賞者講演会

読売新聞社と中央公論新社が2000年（平成12）に創設した学術賞「読売・吉野作造賞」の各年度受賞者を招き、講演会を開催している。本年度はオンライン中継は行わなかった。

・第23回受賞者講演会「80年代のバブルは偶然だったのか、必然だったのか」

講師：櫻川昌哉氏（慶應義塾大学教授）

日時：2022年11月12日（土） 14:00～16:00

会場：吉野作造記念館研修室

来場者：37名

(5) 第6回吉野作造検定

2018年の吉野作造生誕140年を記念して開始した、吉野作造の生涯や事績に関する知識と理解を問う検定試験。初級、中級、上級の3クラスがあり、大人も子供も楽しめる内容。

日時：2023年2月12日（日）、14日（火） 13:30～14:30、14:40～15:40、15:50～16:50

合格発表：2023年2月19日（日）

参加者：8名（初級5名、中級4名、上級3名）

関連行事：無料事前講座（中・上級受験者用）

日時：2023年2月5日（日） 14:00～16:00

会場：吉野作造記念館

参加者：7名

(6) 吉野作造ジュニア検定

大崎市の小学生を対象に、吉野作造記念館で展示を見ながらプリントの問題に答える夏休み課題に取り組んでもらい、達成感を得ながら吉野作造について理解と関心を広げてもらう企画。全問正解した児童には認定証と記念品（オリジナルキーホルダー）を贈呈した。

対 象：大崎市内の小学校5～6年生

期 間：2022年7月～8月（夏休み明けまで）

参 加 者：58名

(7) 出前講座等

- ・アーカイブズ学研究演習（東北大学文学部・オンライン）

担 当：小嶋翔（吉野作造記念館主任研究員）

期 日：2022年6月2日（木）

参 加 者：21名

- ・宮城県築館高等学校同窓会

担 当：氏家仁（吉野作造記念館館長）

期 日：2022年8月7日（日）

会 場：エポカ 21（くりはら交流プラザ）

参 加 者：140名

- ・大崎教育フォーラム

担 当：氏家仁（吉野作造記念館館長）

期 日：2022年8月31日（水）

会 場：宮城県古川高等学校

参 加 者：70名

- ・宮城いきいき学園

担 当：氏家仁（吉野作造記念館館長）

期 日：2023年2月21日（火）

会 場：大崎生涯学習センター

参 加 者：11名

- ・片平九条の会

担 当：佐藤弘幸（吉野作造記念館学芸員）

期 日：2023年2月26日（日）

会 場：仙台市片平市民センター

参 加 者：50名

(8) 実習の受け入れ等

- ・博物館実習

期 間：2022年9月6日（火）～10日（土）

参 加 者：1名（宮城学院女子大学）

(9) 小中学校吉野作造教育実践研究に関する指定事業

小中学校および義務教育学校における吉野作造に関する教育を通じて、児童生徒の生きる力を育み、将来に活躍する人材の育成を図る。2022年度は2校を指定、教員研修、教材および資料提供などの協力を行った。

指 定 校：大崎市立古川第一小学校、大崎市立古川中学校

期 間：2022年4月1日～2026年3月31日

- ・教員研修（古川第一小学校）
 日 時：2022年7月27日（水） 9:30～11:30
 会 場：吉野作造記念館
 参加者：15名
- ・絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』を活用した道徳授業（古川第一小学校）
 期 日：2023年3月16日（木）
 対 象：3年生、4年生（授業者：教頭 三塚隆洋先生、教諭 新沼聡先生）

(10) 吉野作造生誕145年記念給食

大崎市教育委員会の主催による、大崎市の小・中学校で給食を通して吉野作造を知ってもらう企画。特別メニューとして吉野の好物とされるおでんとアイスクリームが市内各校で提供された。当館では企画段階よりメニューの選定などに協力。また教材として吉野作造を紹介する映像（4分）、メニューと吉野の関係を解説したリーフレットを作成した。

期 間：2023年2月13日（月）～2月28日（火）※期間内いずれかの日に提供

4. 調査研究事業・出版事業

(1) 資料調査

- ・宮城県仙台第一高等学校（2022年5月）
- ・一関市博物館（2022年5月）
- ・東京都・上田氏宅（2022年7月）
- ・大崎市図書館（2022年12月）
- ・鎌田記念ホール（2022年12月）

(2) 研究紀要『吉野作造研究』第19号発行

発行部数：350部

頒 価：1,389円（税別）

目 次 〈講演・講義録〉

◇第15回吉野ネットワーク交流事業 人材育成研修会

- ・沖縄復帰50年を迎えて一施政権返還への道を中心に―/河野康子
- ・近現代史における日本・ウクライナ関係―満州でのウクライナ人ディアスポラについて―/オリガ・ホメンコ

◇読売・吉野作造賞受賞者講演会（第23回）

- ・80年代のバブルは偶然だったのか、必然だったのか/櫻川昌哉

〈論文〉

- ・地域におけるアーカイブズ保存―吉野作造記念館の事例を中心に―/佐藤弘幸

〈史料紹介〉

- ・戦時下大崎地域における農村の暮らし―大崎市所蔵「荒田目地区回覧板」（加藤家文書）―/おおさき文化研究会（仮称）

(3) 研修等への参加

- ・2022年度アーカイブズ・カレッジ（史料管理学研修会）

公文書を含む記録資料の収集、整理、保存、利用等に関する専門的知識と技術を持つ職員（アーキビスト）養成の研修会。

期 間：2022年7月19日（火）～8月5日（金）、8月22日（月）～9月9日（金）

※オンライン参加

主 催：国文学研究資料館

参加職員：小嶋翔（吉野作造記念館主任研究員）、佐藤弘幸（同学芸員）

・ 沖縄県公文書館見学

日 時：2022 年 10 月 25 日（火） 10:00～12:00

参加職員：小嶋翔（吉野作造記念館主任研究員）、佐藤弘幸（同学芸員）

(4) 研究会・学会

・ 国際啄木学会 2022 年度秋の大会

シンポジウム「大正デモクラシー期の文学と思想—啄木・晶子・作造」に小嶋翔主任研究員がパネリストとして参加。

主 催：国際啄木学会

共 催：吉野作造記念館

日 時：2022 年 10 月 16 日（日） 10:00～17:20

会 場：吉野作造記念館研修室

参加者：56 名

・ 第 17 回 明星研究会「与謝野寛・晶子を偲ぶ会」（オンライン）

対談「晶子とその時代～社会、思想、世界を思索する眼差し」に小嶋翔主任研究員が参加。

主 催：明星研究会

共 催：吉野作造記念館

日 時：2023 年 3 月 25 日（土） 14:00～16:30

参加者：73 名

(5) その他研究実績等

研究発表 ・ 小嶋翔「戦時下・晩年の能楽研究—1943 年東北帝大能楽公演に寄せて」（東北大学文学部創立 100 周年・阿部次郎記念館新規資料公開記念シンポジウム「阿部次郎研究の新地平」、10 月 15 日、東北大学片平さくらホール）

・ 小嶋翔「吉野作造と大正期文芸思想—唯物論社会主義との対決を通じた交錯」（国際啄木学会 2022 年度秋の大会・シンポジウム「大正デモクラシー期の文学と思想—啄木・晶子・作造」、10 月 16 日、吉野作造記念館）

・ 小嶋翔「自治体文書館における民間アーカイブズの保存と指定管理者制度」（2022 年度アーカイブズカレッジ修了論文報告会、3 月 26 日、オンライン）

論文等 ・ 佐藤弘幸「地域におけるアーカイブズ保存—吉野作造記念館の事例を中心に—」（『吉野作造研究』第 19 号、2023 年 4 月）

・ 小嶋翔「社会教育者としての安部磯雄—明治期社会主義思想における都市公共論」（『日本経済思想史研究』第 22 号、2022 年 3 月）

・ 小嶋翔、分担執筆（第 10 講「女性解放思想」）、山口輝臣・福家崇洋編『思想史講義【大正篇】』筑摩書房、2022 年 8 月

・ 小嶋翔「〈書評〉岡安儀之著『「公論」の創生「国民」の誕生—福地源一郎と明治ジャーナリズム』」（『歴史』138 号、2022 年 4 月）

・ 小嶋翔「シンポジウム「東北・民主主義の源流」に寄せて」（『社会文学』56 号、2022 年 8 月）

・ 仮称・おおさき文化研究会（小野寺智、高橋静江、辻山智信、二郷成子、橋本裕美、三浦明希—以上 6 名：市民学芸員／小嶋翔、佐藤弘幸—吉野作造記念館）「(史料紹介) 戦時下大崎地域における農村の暮らし—大崎市所蔵「荒田目地区回覧板」(加藤家文書) —」（『吉野作造研究』第 19 号、2023 年 4 月）

5. 第8回吉野作造研究賞

吉野作造記念館では、吉野作造が終生後進の育成に取り組んでいたことに鑑み、吉野作造研究賞を設け、若手研究者の育成と吉野の精神の継承、吉野研究の裾野の拡大に取り組んでいる。第8回吉野作造研究賞は、2022年4月発行の『吉野作造研究』第18号に募集要項を掲載したほか、関連する分野の学会等に案内送付、またインターネット上で募集告知を行った。応募資格は2022年4月1日時点で40歳以下の者、応募作品については政治史、政治思想史、文化史などを主題とした未発表のものか、2020年4月1日から2022年3月31日までに刊行された著作、研究論文を対象とした。また今回より若手奨励としての趣旨をより強く打ち出すため、博士号取得から2022年4月1日時点で5年以内（2017年度以降に博士号を取得）もしくは博士号未取得の者による著作で、今後の研究の発展が特に期待できるものを対象に新人賞を授与することとした。第8回は8作の応募があり、最優秀賞1作、新人賞1作が選出された。2023年11月に授賞式・受賞者講演会を予定している。

審査委員会 委員長 宇野重規氏（東京大学社会科学研究所教授）

同 委員 松田宏一郎氏（立教大学法学部教授）

同 委員 清水唯一朗氏（慶應義塾大学総合政策学部教授）

最優秀賞 柳愛林『トクヴィルと明治思想史—〈デモクラシー〉の発見と忘却』（白水社、2021年）

新人賞 澤井勇海、East Asia before 'Diplomacy': The Transformation of China and Japan's Foreign Policy-making, 1858-1881（博士論文、2021年5月）

6. 人材育成事業

吉野作造が終生後進の育成に取り組んでいたことに鑑み、政治史、政治思想史、文化史、その他吉野作造に関連するテーマの学術研究または各種社会実践活動を志す学生を対象に、総合的な人材育成を目指す。例年合宿形式の研修会を実施しているが、本年度は新型コロナウイルスの流行を受け、オンラインでの研修会、およびその参加者を対象とした助成事業を実施した。

(1) 令和4年度吉野ネットワーク交流事業 人材育成研修会（第15回）

日時：2022年9月3日（土）、4日（日） 13:00～18:00 ※全日程オンライン

全体テーマ：「沖縄復帰50年から考える戦争と平和」

参加者：学生21名、講師10名、基調講演一般参加者7名

各講義の演題および講師

第1日目（3日）

基調講演：「沖縄復帰50年を迎えて—施政権返還への道を中心に」

河野康子氏（法政大学名誉教授）

分科会①：「沖縄復帰の内政基盤—佐藤栄作長期政権と戦後の終焉」

村井良太氏（駒澤大学教授）

分科会②：「変化の時代と『平民宰相』原敬—明治維新、大正デモクラシーから現代へ」

清水唯一朗氏（慶應義塾大学教授）

分科会③：「戦前のアメリカ留学生と日本人ディアスポラ—日本海軍士官を中心に」

小川原正道氏（慶應義塾大学教授）

第2日目（4日）

全体講義：「近現代史における日本・ウクライナ関係、満州でのウクライナ人ディアスポラについて」オリガ・ホメンコ氏（慶應義塾大学訪問准教授）

分科会④：「20世紀初頭の日露関係」奈良岡聰智氏（京都大学教授）

分科会⑤：「吉野作造と島田三郎」武藤秀太郎氏（新潟大学教授）

分科会⑥：「『自衛戦争』という神話—近代日本の戦争目的」手嶋泰伸氏（龍谷大学講師）

(2) 助成事業（学術研究・社会実践活動奨励）

（ア）政治史、政治思想史、文化史、その他吉野作造に関連するテーマの、個人またはグループによる研究、（イ）2022年10月～2023年9月の期間に行われる、個人またはグループによる社会実践活動で、社会的な継続性・発展性が期待できるもの。以上2つのうちいずれかの活動が対象。本年度は、研修会受講者のうち応募のあった5名を採用した。助成対象となった活動の成果報告は『吉野作造研究』第20号（2024年4月刊行予定）に掲載予定。

助成額：学部生最大5万円、修士課程最大10万円、博士課程最大15万円

採択者

- 学術研究部門
- ・高島笙（東北大学大学院文学研究科・博士課程）「第26回衆議院議員総選挙と戦前派代議士の限界―尾崎行雄を事例に―」
 - ・手代木みずき（東北大学大学院国際文化研究科・修士課程）「20世紀初頭の歴史的シリアにおける女性をめぐる議論」
 - ・陳春松（京都大学大学院法学研究科・博士課程）「日中戦争における蒋介石の対日認識―彼のアジア主義的思考を中心に―」
 - ・明海輝（京都大学大学院法学研究科・修士課程）「日清戦争における国際関係と日本外交」
 - ・RAMOS Manon Julie Chloé（京都大学大学院法学研究科・博士課程）「戦間期日本の内閣制度とその運用―政党政治の時代における連帯責任の問題を中心に―」

(3) 前年度助成事業（令和3年度採用者）成果報告

2022年9月までに行われる活動を対象に5名を採用した。その成果報告サマリーは『吉野作造研究』第19号（2023年4月刊行予定）に掲載されている（所属は採用時のもの）。

採択者

- 学術研究部門
- ・何琦璠（東北大学大学院国際文化研究科）「松本亀次郎の中国認識―中国人留日学生教育とのかかわりを中心に―」
 - ・黄偉軒（京都大学大学院法学研究科）「吉野作造のイギリス帝国をめぐる理解とその影響―戦後の歴史認識問題から見る―」
 - ・曲金堯（京都大学大学院法学研究科）「日中国交正常化に向けて：1960年代における非公式交渉の一考察―田川誠一を中心に―」
 - ・井龍奈実（龍谷大学文学部）「婦人参政権獲得運動と治安警察法―転換点としての第44議会―」
- 社会実践部門
- ・野村宙可（お茶の水女子大学文教育学部）「キャリア選択・戦争の受容と平和への願い―フィンランド留学体験を中心に―」

7. 市民交流・情報発信事業

(1) 『吉野作造記念館だより』第31号発行

発行部数：1500部

(2) 『2022（令和4）年度吉野作造記念館年報』（本誌）発行

発行部数：150部

(3) インターネットサービス

吉野作造記念館公式ウェブサイトの運営に加え、各種SNSも活用して情報を発信している。2022年度は新型コロナウイルス流行の影響を鑑み、有料のウェブ会議サービスと契約

し、一部行事を完全オンライン、または会場とオンラインの併用で行った。

2022（令和4）年度 NPO 法人古川学人事業 事業報告

1. 人づくり（主権者教育）

(1) 高校生を対象とした主権者教育

選挙権の拡大と国民の政治意識の向上が吉野作造の生涯のテーマであったことに鑑み、高等学校などを対象に、選挙権拡大の歴史や、選挙を通じて政治に参加することの意義を学ぶ主権者教育を行っている。2022年度は以下の3校を対象に、講義形式で授業を行った。

・宮城県泉館山高等学校 2年生

日 時：2022年12月16日（金） 13:35～14:35

講 師：氏家仁（吉野作造記念館館長）

会 場：泉館山高等学校体育館

参加者：240名

・古川学園高等学校（普通科総合コース） 3年生

日 時：2022年12月13日（火） 13:30～14:40

14日（水） 9:10～10:20

23日（金） 9:10～10:20、11:00～12:10

講 師：氏家仁（吉野作造記念館館長）

会 場：吉野作造記念館

参加者：142名

・宮城県仙台第三高等学校 2年生（文系クラス）

日 時：2023年3月20日（月） 9:45～10:35

講 師：氏家仁（吉野作造記念館館長）

会 場：仙台第三高等学校大講義室

参加者：90名

(2) 令和4年度高校生による選挙啓発活動サポート事業

宮城県における国政選挙、県選挙の投票率は、横ばい又は低下傾向にあり、全国の傾向同様、特に10代、20代の投票率が他の世代と比べて低い状況である。そのような状況を鑑み、高校生が令和4年に実施される参議院議員選挙に対する選挙啓発の取り組みを主体的に企画・実践する事業を実施することにより、18歳の投票率向上と主権者教育の推進を目指す。5回のワークショップを通して選挙の課題や投票率向上について考え、オリジナルポスターや啓発看板の作成、プリント配布など、各校ごとにそれぞれの問題意識に基づいた様々な取り組みを行った。7月の参議院議員選挙における参加5高校の生徒の投票率は55.3%と、全国の18歳の投票率38.67%を大きく上回る結果となった（+16.63ポイント）。

主 催：宮城県選挙管理委員会

事業実施委託受注者：NPO 法人古川学人

日 程：2022年5月12日（木）、13日（金）、22日（日）、29日（日）、8月7日（日）

参加者：27名（大崎中央高等学校、古川高等学校、古川学園高等学校、古川工業高等学校、古川黎明高等学校）

(3) 絵本『ケロッキーとのおおきなあな』普及事業

NPO 法人古川学人が2021年に刊行した、親子で選挙に親しむオリジナルの絵本『ケロッキーとのおおきなあな』を活用し、幼少期からの主権者教育や社会教育を家庭や地域生

活において習慣化し、未来の有権者を育てることを目指す事業。

- ・吉野作造記念館 GW ちいさなイベントでの絵本読み聞かせ、子ども投票体験
期 日：2022年5月5日（木）
会 場：吉野作造記念館企画展示室
- ・カムカムひろばでの絵本読み聞かせ、子ども投票体験
期 日：2022年6月12日（日）、10月8日（土）、2023年2月11日（土）
会 場：醸室寺子屋ホール（大崎市古川）
来 場 者：6月12日40名、10月8日85名、2月11日104名
- ・古川ロータリークラブゲストスピーチ『絵本で学ぶ民主主義』
期 日：2022年8月26日（金）
講 師：本間明美、菅原暢子（吉野作造記念館総務）
会 場：アインパルラ浦島
来 場 者：40名
- ・絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』パネル展
会 期：2022年9月1日（木）～10月12日（水）
会 場：あ・ら・伊達な道の駅スパイラルホール（大崎市岩出山）
- ・絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』パネル展
会 期：2022年11月3日（木）～11月24日（木）
会 場：大崎市地域交流センター（あすも）
- ・ピースアクション 2022IN みやぎ 絵本キャラバンでの絵本読み聞かせ
期 日：2022年11月5日（土）
会 場：アエル1Fアトリウム（仙台市）
来 場 者：34名
- ・絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』パネル展
会 期：2022年11月25日（金）～12月18日（木）
会 場：玉造荘（大崎市鳴子温泉）
- ・吉野作造記念館クリスマス会での絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』原画展、読み聞かせ、子ども投票体験
期 日：2022年12月11日（日）（原画展は12月25日（日）まで）
会 場：吉野作造記念館企画展示室
来 場 者：506名（原画展）
- ・絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』小学校巡回パネル展
会 期：2022年9月2日（金）～
会 場：敷玉小学校、高倉小学校、古川北小学校、松山小学校、下伊場野小学校、三本木小学校、岩出山小学校、田尻小学校、大貫小学校、古川第四小学校、古川第三小学校、古川第一小学校、古川第二小学校

2. 街づくり（市民社会育成）

(1) おおさき芸術コンクール（芸術文化振興事業）

宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業。新型コロナウイルスの流行によりステイホームを余儀なくされている小・中学生、高校生向けの教育支援と、社会支援を兼ねた事業。児童生徒が出品した作品（絵画・写真）でチャリティ展覧会を開催、会場内に募金箱を設置する。募金は新型コロナウイルス感染症対策費として大崎市へ寄付される。作品制作を通して社会貢献を行い、児童生徒の地域社会に対する意識を高めることを目指す。

・チャリティ展覧会

会 期：2022年11月5日（土）～12月4日（日）

会 場：吉野作造記念館企画展示室

応募数：67点（絵画の部52点、写真の部15点）

来場者：634名（無料）

・表彰式

日 時：2022年12月4日（日） 14:00～15:00

会 場：吉野作造記念館企画展示室

来場者：44名（無料）

受賞作品・作者一覧（敬称略）

写真の部 最優秀賞 「家族とお散歩」松江緋那（岩出山小6年）

優 秀 賞 「ひまわりが咲いた！」鈴木比奈子（古川黎明中3年）

絵画の部 最優秀賞 「吉野作造記念館で花火を見たよ」前田隼輝（古川第二小1年）

優 秀 賞 「ぼくの小学校」菅原康介（敷玉小学校6年）

「おおさきバルーンフェスティバル」菊池音寧（古川黎明中2年）

「ふるさと」照井穂乃花（古川黎明中3年）

佳 作 「みんなが大好きなじいちゃんのお米」伊藤心春（古川第五小1年）

「寝ぐらに帰ってくるまがん」藤崎比菜（沼部小5年）

「夏休みの思い出」加川碧唯（古川第二小5年）

「めぐる」清野佳蓮（古川東中3年）

理事長賞 「夜空」佐藤優智（古川支援学校中学部3年）

(2) 市民交流事業

・こどもの日ちいさなイベント

新型コロナウイルス対策として、例年開催しているGWイベントの規模を縮小。『ケロッキーブーとおおきなあな』ほか絵本の読み聞かせ会、子ども投票体験、シャボン玉のプレゼント（先着50名）など。また、当日は常設展示室を観覧無料とした。

日 時：2022年5月5日（木） 9:00～17:00

会 場：吉野作造記念館

来場者：86名（無料）

・吉野作造記念館クリスマス会

『ケロッキーブーとおおきなあな』ほか絵本の読み聞かせ会、『ケロッキーブーとおおきなあな』原画展（12月25日（日）まで）、子ども投票体験、サンタクロースからお菓子のプレゼント（先着50名）など。また、当日は常設展示室を観覧無料とした。

日 時：2022年12月11日（日） 9:00～17:00

会 場：吉野作造記念館

参加者：205名（無料）

・吉野作造生誕記念イベント

館長による記念講演および、おおさき社会貢献大賞の表彰式、吉野作造フェローシップの採用企画発表が行われた。

日 時：2023年1月29日（日） 13:00～15:00

会 場：吉野作造記念館研修室

記念講演：「吉野作造は政治と宗教の問題をどう考えたか」

氏家仁（吉野作造記念館館長）

参加者：79名（無料）

(3) 第5回吉野作造記念おおさき社会貢献大賞

より良い地域社会づくりに取り組む若者たちを表彰し、吉野作造のデモクラシーと社会貢献の精神を次世代に伝えていくため、2018年度より開始。大崎市内の小・中・高校、特別支援学校、高等専門学校生徒の個人または団体などによる「若者の政治参加に関する活動」「社会福祉に関する活動」「地域文化・地域社会に貢献する活動」「国際貢献活動」を対象に表彰を行う。2022年度は9件の応募があり、各賞は下の通り。



最優秀賞

- ・「7月豪雨災害ボランティア」大崎市立鹿島台中学校 1～3年生 (11名)

優秀賞

- ・大崎市立岩出山中学校の取り組み

- (1)「政宗公まつり」大崎市立岩出山中学校 1～3年生 (191名)・教職員
- (2)「大崎市社会福祉協議会岩出山支所との連携事業“あったかことばのギフトカード”」大崎市立岩出山中学校 1～3年生 (216名)・教職員
- (3)「岩中ハンドシェイクプロジェクト 岩中SDGs つなぎ届ける ミャンマーへの想い」大崎市立岩出山中学校 1～3年生 (191名)・教職員

- ・大崎市立鳴子中学校の取り組み

- (1)「高齢者への見守り活動」大崎市立鳴子中学校 環境・福祉委員会 (6名)
- (2)「パキスタン洪水被害への募金活動」大崎市立鳴子中学校 生徒会執行部・環境・福祉委員会

※岩出山中学校・鳴子中学校については、校内の複数の組織で下記の社会貢献活動を行い、それぞれの活動が優れた取り組みであるため、取り組み全体に対して1つの賞を授与。

- ・「岩出山小学校児童に対する読み聞かせ」宮城県岩出山高等学校 3年生 (14名)

奨励賞

- ・「誰にでも優しく、暮らしやすい大崎を願って～手作りシトラスリボン無償配布」古川学園高等学校家庭部 1～3年生 (34名)
- ・「絵手紙でつながる心のキャッチボール」大崎市立岩出山小学校 3～6年生 (250名)

(4) 第4回吉野作造フェローシップ

社会の課題を見つけ、みずからのアイデアで解決しようとする若者の活動を応援する事業。「若者の政治参加や政策提言、またそのための調査研究に関する活動」「社会福祉に関する活動」「地域文化・地域社会に貢献する活動」「国際貢献活動」に関するアイデア・活動計画に対し、審査の上助成を行う。助成額は応募資格A(小・中・高校、特別支援学校、高等専門学校生徒の個人または団体)で最大5万円、応募資格B(大学生及び19～29歳の個人または団体)で最大10万円。

2022年度第4回は2団体から応募があり、下の通り採用された。

応募資格A(小・中・高校生・特別支援学校生・高専生)採用企画

- ・「古川西小中学区での持続可能な後輩に継承していく地域貢献活動の充実」大崎市立古川西中学校 2学年および生徒会執行部 …奨励金5万円

応募資格B(大学生、19～29歳)採用企画

- ・「Robomatch in おおさき」Robomatchプロジェクト …奨励金10万円

(5) 吉野作造記念館友の会

吉野作造記念館を通して会員相互の親睦を図りつつ、地域の芸術・文化・歴史を学ぶことを目的に2016年度より募集を開始。現在の年会費は3,000円で、常設・企画展示観覧、および講座・講演会などの参加が無料、記念館発行の書籍、研究紀要最新号などの特典がある。4年間継続参加で「吉野作造マスター」の称号を授与。会員限定のイベントもある。

会員数：36名（2023年3月現在）

・友の会バスツアー

日 時：2022年11月23日（水） 9:00～15:00

行 先：震災遺構仙台市立荒浜小学校、JR フルーツパーク仙台あらはま

参加者：8名

3. 未来づくり（次世代育成）

(1) おおさき作文コンクール（キッズ教育支援事業）

宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業。大崎市内の小学生（5～6年生）・中学生・高校生を対象に作文を募集。テーマは①私たちの暮らす地域の歴史や文化、②私たちの暮らす地域の未来、のいずれか。小学生・中学生・高校生の各部門ごとに最優秀賞（1名）、優秀賞（2名以内）、また全部門から1作品、独自の民主主義的な視点で取り組んだ作品に大正デモクラシー賞を授与する。

計90作品の応募があり、各賞は下の通り（敬称略）。12月4日（日）、おおさき芸術コンクールと合わせ表彰式を実施した。

高校生の部 応募なし

中学生の部 最優秀賞 「魅力と活気あふれるまちへ」中鉢雫（岩出山中3年）

優 秀 賞 「私たちが暮らす地域の未来」赤間沙羽（岩出山中2年）

優 秀 賞 「伝統・歴史を伝える」横田くるみ（古川黎明中3年）

奨 励 賞 「未来の大崎市に希望すること」吉田真子（三本木中3年）

奨 励 賞 「活気ある古川にするために」村山瑞希（古川南中2年）

奨 励 賞 「住みたくて住んでいる訳じゃないのに」藤田妃名（古川黎明中2年）

小学生の部 優 秀 賞 「私たちの暮らす地域の未来」飯田峻伍（古川第二小5年）

大正デモクラシー賞 「鹿島台の未来」大和田吏音（鹿島台中1年）

(2) 第4回吉野作造記念弁論大会（第9回宮城県高等学校弁論大会）

宮城県高等学校弁論大会は、2019年度の第6回大会よりNPO法人古川学人との共催となり、吉野作造記念館を会場に「吉野作造記念弁論大会」を兼ねる形で実施されている。それに伴い最優秀賞、優秀賞、優良賞の他に新たに「吉野作造特別賞」が設けられた。2022年度の第9回（吉野作造記念弁論大会としては第4回）は7校から10名が参加した。

主 催：宮城県高等学校文化連盟

共 催：宮城県教育委員会、NPO法人古川学人

主 管：宮城県高等学校文化連盟弁論専門部

後 援：大崎市教育委員会、河北新報社、大崎タイムス社

日 時：2022年12月9日（金） 9:30～15:00

会 場：吉野作造記念館研修室

受賞者一覧（敬称略）

最優秀賞 「キーパーソンになるために」中村茉莉亜（築館高2年）

優 秀 賞 「虹の彼方に」菅原あかり（築館高2年）

優良賞 「子どもたちの幸せを願って」田辺心愛（聖和学園高2年）
吉野作造特別賞 「虹の彼方に」菅原あかり（築館高2年）

(3) 高校生・大学生入館料減免

- ・大崎中央高等学校（11月2名、2月9名）
- ・古川学園高等学校（12月142名）

(4) 健康増進事業

吉野作造記念館北側の休憩ラウンジでは、NPO 法人古川学人と NPO 法人ハッピーート大崎の共催により、通年事業として食育や食生活の相談、健康増進・啓発事業を実施し、当館市民交流事業の際は、火を使わずに簡単にできる料理教室などを開催している。

(5) 他団体への協力

- ・NPO 法人 Synapse40 への協力（通年）

Synapse40（シナプス40）は大崎市内で教育支援活動に取り組む NPO 法人。同法人主催による「共生社会の実現に向けた市民フォーラム」開催への協力などを行っている。

関連行事：共生社会の実現に向けた市民フォーラム 2022

日 時：2022年12月11日（日） 13:00～16:00

会 場：大崎市図書館

- ・おおさき日本語教室（鈴木裕子代表）への協力 [東アジア交流事業]（通年）

会場提供など。

- ・いぬねこ十一番地

犬や猫が好きなのも苦手なのも、だれもが参加できる形で持続可能なまちづくりを目指す動物愛護啓発イベント。ワークショップや展示・映像、グッズ販売、譲渡会などを開催。

主 催：いぬねこ十一番地実行委員会

協 力：NPO 法人古川学人、SDGs おおさき、Avain

後 援：宮城県大崎保健所、大崎市

日 時：2022年10月23日（日） 10:00～14:00

会 場：吉野作造記念館、記念館前広場

来 場 者：492名

4. NPO 法人古川学人創立 20 周年記念式典

5月28日のNPO総会に合わせ、NPO 法人古川学人創立20周年記念式典が開催された。来賓として吉野作造ご令孫の上田雪子氏、大崎市の伊藤康志市長、熊野充利教育長、関武徳市議会議長などが出席。また、これまでの法人の歩みを振り返る映像の上映や、大崎市内の高校生2名を交えたシンポジウム「おおさきの輝く未来～まちづくりは君たちの手で～」が行われた。



日 時：2022年5月28日（土） 13:30～15:00

会 場：吉野作造記念館研修室

来 場 者：45名

2022（令和4）年度事業一覧

2022年		参加人数
4/2、6/5、7/2、 8/6、9/24	吉野作造基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう(前期)」	のべ79名
5/3	憲法記念日講演会(講師:佐々木弘通氏)	40名
5/5	こどもの日ちいさなイベント	86名
5/12、5/13、 5/22、5/29、8/7	令和4年度高校生による選挙啓発活動サポート事業(主催:宮城県選挙管理委員会)	27名
5/22、6/19	学芸体験講座(前期)「資料読解～吉野作造の手紙を読んでみよう」	計15名
5/28	NPO法人古川学人創立20周年記念式典	45名
6/1	常設展示室展示替え	
6/2	〈出前講座〉アーカイブズ学研究演習(東北大学文学部、オンライン)	21名
6/12	絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』読み聞かせ会@カムカムひろば	40名
7月～8月	吉野作造ジュニア検定	58名
7/24～9/25	前期企画展「吉野作造と宮城県尋常中学校の仲間たち」	886名
7/27	大崎市立古川第一小学校教員研修	15名
8/7	〈出前講座〉宮城県築館高等学校同窓会	140名
8/21	前期企画展記念講演会(講師:後藤齊氏)	57名
8/26	古川ロータリークラブゲストスピーチ『絵本で学ぶ民主主義』	40名
8/31	〈出前講座〉大崎教育フォーラム	70名
9/1～10/12	絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』パネル展@あ・ら・伊達な道の駅	
9/3、9/4	令和4年度吉野ネットワーク交流事業 人材育成研修会(第15回、オンライン)	計80名
9/6～9/10	博物館実習	1名
10/1、11/5、 12/3、1/7、2/4	吉野作造基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう(後期)」	のべ69名
10/8	絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』読み聞かせ会@カムカムひろば	85名
10/15	〈研究発表〉東北大学文学部創立100周年記念シンポジウム	68名
10/16	国際啄木学会2022年度秋の大会	56名
10/19、10/22、 12/14、12/17	学芸体験講座(後期)「市民で作る企画展」	6名
11/3～11/24	絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』パネル展@大崎市地域交流センター(あすも)	
11/5～12/4	おおさき芸術コンクール チャリティ展覧会	634名
11/5	絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』読み聞かせ会@ピースアクション2022INみやぎ 絵本キャラバン	34名
11/12	第23回読売・吉野作造賞受賞者講演会(講師:櫻川昌哉氏)	37名
11/23	友の会バスツアー	8名
11/25～12/18	絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』パネル展@玉造荘	
11/30	〈出前講座〉鳴子小学校	10名
12/1	常設展示室展示替え	
12/4	おおさき芸術コンクール・おおさき作文コンクール 表彰式	44名
12/9	第4回吉野作造記念弁論大会(第9回宮城県高等学校弁論大会) (主催:宮城県高等学校文化連盟)	
12/11	クリスマス会	205名
12/11～12/25	絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』原画展	506名
12/13、12/14、 12/23	〈主権者教育〉古川学園高等学校(普通科総合コース)3年生	142名
12/16	〈主権者教育〉泉館山高等学校2年生	240名
2023年		
1/29	吉野作造生誕記念イベント	79名
1/29～3/26	後期企画展「我が町おおさきの歴史・文化(第1回 戦争篇)」	867名
2/6	吉野作造検定 無料事前講座	7名
2/11	絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』読み聞かせ会@カムカムひろば	104名
2/12、2/14	第6回吉野作造検定	8名
2/13～2/28	吉野作造生誕145年記念給食	
2/21	〈出前講座〉宮城いきいき学園	11名
2/25	後期企画展記念講演会(講師:大平聡氏)	42名
2/26	〈出前講座〉片平九条の会	50名
3/12、3/26	歴史講座(講師:後藤彰信氏)	計50名
3/20	〈主権者教育〉仙台第三高等学校2年生(文系クラス)	90名
3/25	第17回 明星研究会「与謝野寛・晶子を偲ぶ会」(オンライン)	73名

2022（令和4）年度入館者・売上

入館者数

（単位：人）

	有料入館者						合計	無料入館者	総入館者合計
	一般		高校生		小・中学生				
	個人	団体	個人	団体	個人	団体			
4月	96	5	0	1	0	0	102	358	460
5月	82	8	2	0	2	0	94	553	647
6月	30	25	0	0	1	0	56	419	475
7月	33	10	2	1	1	0	47	475	522
8月	106	15	2	0	0	1	124	541	665
9月	68	7	0	0	2	0	77	528	605
10月	66	37	0	0	0	0	103	1,119	1,222
11月	60	15	0	0	0	0	75	538	613
12月	18	2	0	0	0	0	20	976	996
1月	39	5	1	0	2	0	47	409	456
2月	115	22	0	1	1	1	140	558	698
3月	70	16	0	1	2	0	89	697	786
合計	783	167	7	4	11	2	974	7,171	8,145

会場使用料

（単位：円）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
使用料金	20,256	37,152	12,552	83,280	23,016	8,544	14,496	31,728	11,472
月	1月	2月	3月	合計					
使用料金	12,288	22,512	20,568	297,864					

物品売上

（単位：円）

書籍名	売上	グッズ	売上
川原次吉郎編『古川余影』	6,000	テレフォンカード	0
吉野作造記念館編『大正デモクラシーの旗手 吉野作造』	41,360	ポストカード	2,700
赤松克麿編『故吉野博士を語る』	6,000	一筆箋	1,600
千葉真弓『蒼色の眼差し』	1,000	クリアファイル	85,020
『吉野作造研究』（研究紀要）創刊号～第17号	102,580	オリジナルコーヒー	255,620
『吉野作造記念館所蔵資料目録（2012年度版）』	12,222	合計	344,940
『東アジア文化交流叢書』創刊号	2,037		
絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』	181,368		
合計	352,567	総計	697,507

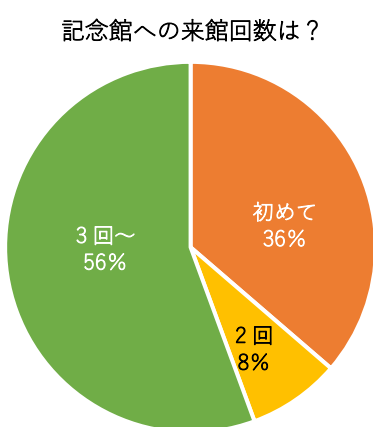
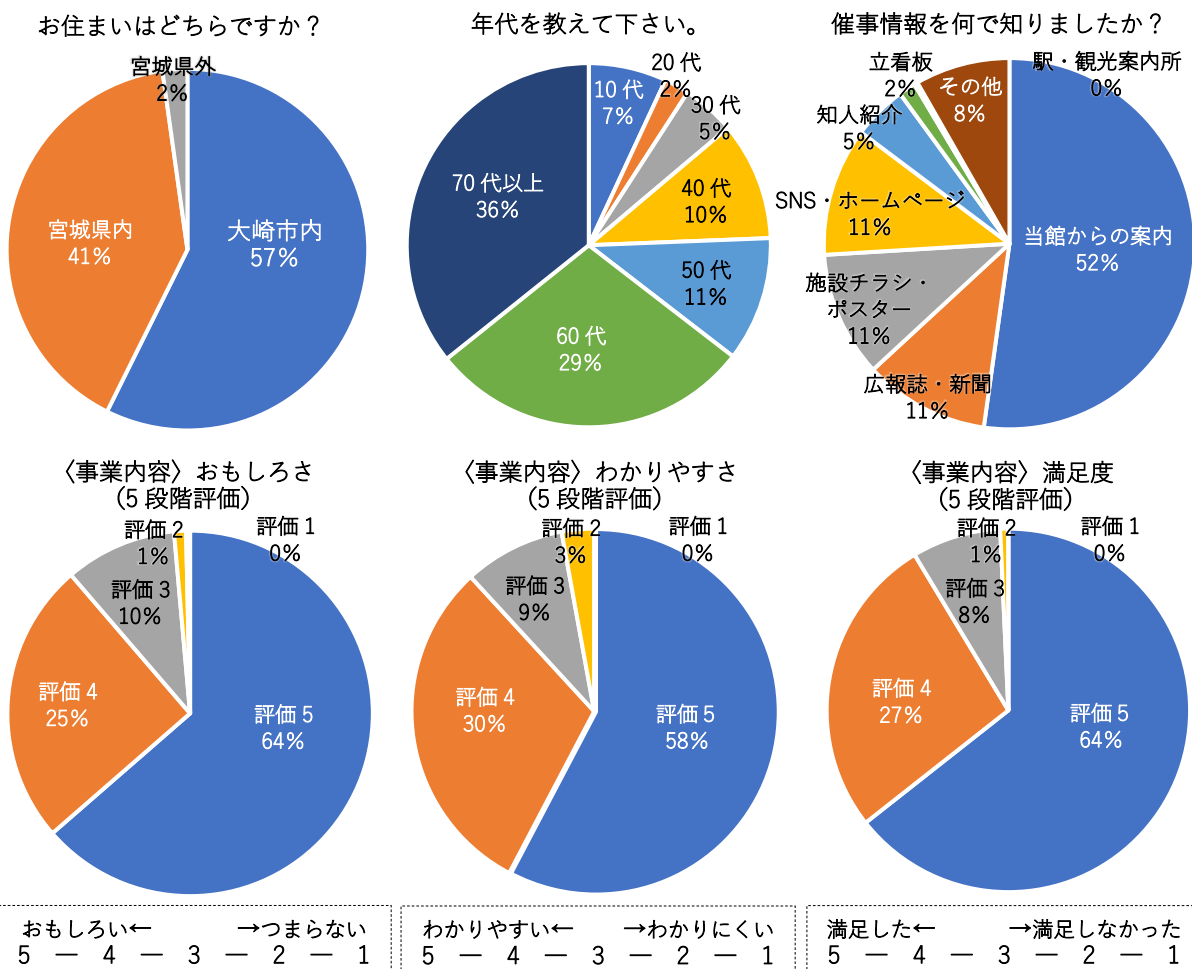
メディアでの紹介

掲載・紹介件数：77件（2022年4月1日～2023年3月31日）

5月	月刊選挙	絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』紹介
5月28日	大崎ケーブルテレビ	古川学人20周年記念式典
5月29日	河北新報	古川高生らパネル討論 20周年式典
5月29日	読売新聞	運営NPO20年 大崎で式典
8月3日	河北新報	吉野作造の青春期紹介 大崎・記念館で企画展
8月15日	河北新報	参院選啓発運動 高校生 選挙の大切さ実感
9月14日	読売新聞	吉野作造の学生時代知る 大崎で企画展
9月25日	大崎タイムス	ロボット操作に試行錯誤 大学生企画ロボマッチ
12月13日	大崎タイムス	作文・芸術で19人受賞 古川学人コンクール
2月4日	河北新報	戦中大崎の暮らしに迫る 吉野作造記念館で企画展
2月4日	河北新報	おおさき社会貢献大賞 鹿島台中に最優秀賞
2月16日	大崎タイムス	吉野作造の好物 給食に おでんとアイスクリーム

アンケート集計結果

集計数：278名 期間：2022年4月1日～2023年3月31日 内訳：企画展、各種講座、催事



お客様からのご意見・ご要望および改善・対策

- ◆後期企画展「我が町おおさきの歴史・文化（第1回 戦争篇）」
 - ・地域の人々と共同して展示を作られたのが素晴らしいと思いました。貴重な満州の写真が見られてとてもよかったです。
- ◆基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」
 - ・地元にもこのような素晴らしい人がいたのに勉強しないのはとても損のように感じます。吉野作造がどのような教育を受け、どのような考えを持つに至ったか、現代に通じるものが大だと思えます。無料で勉強させていただき感謝です。
- ◆おおさき芸術コンクール チャリティ展覧会
 - ・私達のまち「おおさき」の良いところ、好きなどころを「写真」におさめたり「絵」という形で表したり、多種多様な作品があり見ってしまうものばかりでした。ありがとうございます。

◆吉野作造生誕記念イベント

- ・記念講演では、広範に渡る吉野先生の業績について、宗教の視点からとらえるものであり大変勉強になりました。思想の根幹となることを知ることが大切であるということを改めて考えました。第2部の企画はこれからを担う若者たちに道を示し後押しするととても意義のある取組だと思います。ありがとうございます。
- ・本イベントの所要時間をもう少し短縮して頂けると良いかもしれません。（特にフェローシッププレゼンが少し間延びしているように感じました。）ある程度プレゼン資料の枠組みを記念館から提示いただき、事業内容のメリット・目的・目指す姿がわかりやすく伝わるような仕組みが必要かも。
⇒登壇者の発表方法や投影するデータの作り方等について検討させていただきます。

2022（令和4）年度寄贈・購入資料一覧

上田雪子氏（吉野作造孫）寄贈「小松清氏旧蔵明治文化研究会関係資料」は、吉野作造三女光子氏の夫・小松清氏（1899～1975）旧蔵の資料である。内容は主に明治文化研究会の機関誌であった『新旧時代』『明治文化研究』の原稿やゲラ刷、図版写真など計296点で、原稿は尾佐竹猛、石井研堂、宮武外骨、斎藤昌三、藤井甚太郎など、明治文化研究会の主要な会員のものが多数含まれる。吉野作造の原稿も「静岡学校の教師クラーク先生」「再びクラーク先生に就て」などが確認できる。同じく上田氏寄贈「東京吉野家旧蔵資料」は、吉野作造長男俊造氏（上田氏の父）旧蔵の資料。「自由民権時代の主権論」をはじめとする吉野作造原稿19点、吉野作造あて有島武郎書簡、同徳富健次郎（蘆花）書簡など吉野作造遺稿・遺品のほか、吉野俊造氏遺稿、吉野博士記念会、宮城県の明治百年記念式典（1968年）などの関係資料を含む計84点。以上「小松氏ー」および「東京吉野家ー」は、資料の状態および保存の経緯に鑑み、資料群として取り扱う。上田氏からはこの他、有島武郎、杉浦重剛、岡田起作、中国の政治家黄興、唐紹儀、馮玉祥らの書幅7点、吉野作造遺影写真などが寄贈されている。

また、後期企画展「我が町おおさきの歴史・文化（第1回 戦争篇）」開催と並行し、大崎地域の市町村史資料を購入、また寄贈を受けた。

寄贈資料：85点（※資料群は1件で1点とする）

資料名	寄贈者
山形県川西町教育委員会教育文化課『アルカディア人物館ー川西が生んだパイオニア』（公開五周年記念誌）	井上ユリ氏
平和の灯を受け継ぐ市民の会（編）『あの日 あの時』	佐藤仁美氏
『井上ひさし発掘エッセイセレクションII この世の真実が見えてくる』	岩波書店
『井上ひさし発掘エッセイセレクションII 客席のわたしたちを圧倒する』	岩波書店
『井上ひさし発掘エッセイセレクションII まるまる徹夜で読み通す』	岩波書店
明治大学史資料センター（編）『鶴澤總明と明治大学』	明治大学史資料センター
E・W・クラーク顕彰事業実行委員会（編）『エドワード・ウォレン・クラークと明治の静岡/日本/アメリカ』	今野喜和人氏
桜井滋郎『思い出すまま 三』	駒板精思氏
鹿島台歴史研究会（文）、只野文子（絵）『鎌田三之助一品井沼干拓と村づくりの一生ー』	鹿島台歴史研究会
新井勝紘『関東大震災 描かれた朝鮮人虐殺を読み解く』	新井勝紘氏
鹿島台町史編さん委員会（編）『鹿島台町史』	小嶋翔氏
井上ひさし、こまつ座（編・著）『菊池寛の仕事 文藝春秋、大映、競馬、麻雀……時代を編んだ面白がり屋の素顔』	駒板精思氏
栗原郡教育会（編）『栗原郡誌』（復刻版）	小嶋翔氏
宮城県小牛田農林高等学校（編）『小牛田農林百年史』	伊藤たか子氏
三本木町誌編纂委員会『三本木町誌』上・下巻	小嶋翔氏
三本木町誌編さん委員会（編）『三本木の歴史』	小嶋翔氏
武藤秀太郎『島田三郎一判決は国民の輿論に在りー』	武藤秀太郎氏
矢吹晋（監修）、鈴木博（訳）『周恩来 十九歳の東京日記』[改訂新版]	株式会社デコ
石垣政裕『霜の朝わたしは峠を越えるーブゼル先生伝IIー』	石垣政裕氏
エーリヒ・フロム、日高六郎（訳）『自由からの逃走』	駒板精思氏
仙台市博物館（編）『仙台市博物館 館蔵名品図録』[改訂版]	仙台市博物館
井上ひさし、こまつ座（編・著）『太宰治に聞く』	駒板精思氏

井上ひさし『対談集 物語と夢』	駒板精思氏
田尻町史編さん委員会（編）『田尻町史』上巻	小嶋翔氏
田尻町史編さん委員会（編）『田尻町史』下巻	小嶋翔氏
田尻町史編さん委員会（編）『田尻町史』下巻	伊藤たか子氏
田尻町史編さん委員会（編）『田尻町史』史料編	小嶋翔氏
田尻町史編さん委員会（編）『田尻町史』史料編	伊藤たか子氏
宮城県教育会（編）『玉造郡誌』（復刻版）	小嶋翔氏
田尻町議会史編纂委員会（編）『田尻町議会史』	伊藤たか子氏
藤岡信勝ほか10名『中学社会 新しい歴史教科書』	自由社
遠田郡教育会（編）『遠田郡誌』（復刻版）	小嶋翔氏
鳴子町史編纂委員会（編）『鳴子町史』上巻	小嶋翔氏
鳴子町史編纂委員会（編）『鳴子町史』下巻	小嶋翔氏
南郷町史編さん委員会（編）『南郷町史』上	伊藤たか子氏
南郷町史編さん委員会（編）『南郷町史』下	伊藤たか子氏
金子勝『日本国憲法と鈴木安蔵—日本国憲法の間接的起草者の肖像—』	金子勝氏
佐佐木忠慧『花のまぎれに』	駒板精思氏
井上ひさし、こまつ座（編・著）『樋口一葉に聞く』	駒板精思氏
伊藤卓二『百折不撓—早坂順一郎物語—』	駒板精思氏
古川商工会議所（編）『古川商工会議所創立70周年記念誌—一人ひとりが実りのある地域へ—』	古川商工会議所
仁昌寺正一『平和憲法をつくった男 鈴木義男』	仁昌寺正一氏
伊藤卓二『豊饒平野—戦国時代の大崎一族—』	駒板精思氏
松山町史編纂委員会（編）『松山町史』	小嶋翔氏
松山町史編纂委員会（編）『松山町史』	伊藤たか子氏
続松山町史編集委員会（編）『続松山町史』	小嶋翔氏
井上ひさし、こまつ座（編・著）『宮沢賢治に聞く』	駒板精思氏
宮城県蚕糸業史編さん委員会（編）『宮城県蚕糸業史』	伊藤たか子氏
明治大学史資料センター（編）『明治大学140年小史』	明治大学史資料センター
桃生町史編纂委員会（編）『桃生町史』第1巻 資料編	伊藤たか子氏
桃生町史編纂委員会（編）『桃生町史』別冊 人物伝	伊藤たか子氏
關岡一成『吉野作造と海老名弾正—吉野が「海老名門下」のクリスチャン」とされる理由』	教文館
宮田光雄『良き力に不思議に守られて—講演・説教・論考—』	宮田光雄氏
米山町史編纂委員会（編）『米山町史』	伊藤たか子氏
涌谷町史編纂委員会（編）『涌谷町史』上	伊藤たか子氏
涌谷町史編纂委員会（編）『涌谷町史』下	伊藤たか子氏
『会報』157号	東京大学学生キリスト教青年会
『会報』158号	東京大学学生キリスト教青年会
『月刊 選挙』第75巻第5号	都道府県選挙管理委員会連合会
『初期社会主義研究』第30号	後藤彰信氏
『社会文学』第56号	日本社会文学会
『写真通信』（合本）第107号～118号	早坂敏明氏
『丸山眞男記念比較思想研究センター報告』第17号	千葉眞氏
『りらく』第24巻第9号（通巻284号）	プランニング・オフィス
『東京朝日新聞』第12850号（1922年3月16日）	大益三樹子氏
『第二高等学校同窓会 会員名簿』	後藤齊氏
馮玉祥書「到眼詩書皆雪亮」	上田雪子氏
馮玉祥書「束身名教自風流」	上田雪子氏
黄興書「連翮飛処影横斜」（七言絶句）	上田雪子氏
唐紹儀書「翻手作雲覆手雨 紛々輕薄何須数…」（七言絶句）	上田雪子氏
内ヶ崎作三郎色紙「桑麻影裏掩柴荆…」	松田茂氏
内ヶ崎作三郎色紙「秧田多種八月白…」	松田茂氏
内ヶ崎作三郎色紙「牛得自由騎春…」	松田茂氏
内ヶ崎作三郎色紙「草席繩床夜不眠…」	松田茂氏
有島武郎書「含徳之厚比于赤子」	上田雪子氏

杉浦重剛書「鉄骨氷心長養真」	上田雪子氏
岡田起作書「山高不碍白雲飛 竹密不妨流水過」	上田雪子氏
小松清氏旧蔵明治文化研究会関係資料 (296点)	上田雪子氏
東京吉野家旧蔵資料 (84点)	上田雪子氏
写真絵葉書・封筒 (大礼紀念、大婚式十五年紀念、昭憲皇太后御大葬)	松田茂氏
[写真] 古川第一小学校 航空写真	大益三樹子氏
[写真] 金谷不動尊再興祭 (護摩焚き行)	佐藤仁美氏
[写真] 金谷不動尊再興祭 (奉納神輿)	佐藤仁美氏
[写真] 吉野作造遺影写真	上田雪子氏
[写真] 「古川学人吉野作造之碑」除幕式関係写真・資料	上田雪子氏

購入資料：18点

資料名
佐藤あつ子『ああ満州 開拓女教師の手記』
千葉亀雄『いざさらば』
オリガ・ホメンコ『国境を超えたウクライナ人』
真山青果『西鶴語彙考証 第一』
金澤西石 (編) 『最新玉造温泉誌』
真山青果『仙台方言考』
西田耕三 (執筆編集) 『鼎浦小山東助の思想と生涯』
櫻川昌哉『バブルの経済理論—低金利、長期停滞、金融劣化—』
真山青果『南小泉村』
『キング (臨時増刊)』第15巻第5号
『東京朝日新聞』第16847号 (1933年3月20日)
国民新聞社学芸部あて千葉亀雄ハガキ (1925年10月6日)
春陽堂あて真山青果書簡 (年代不明)
宮城県鹿島台村教育会 表彰記念絵葉書
新選宮城県管内全図 (1882年10月)
絵葉書「宮城県遠田郡沼部村尋常高等小学校 集団鍛錬運動 (全校体操)」
「玉造郡温泉村新屋敷区 衛生組規約」
団扇3点 (佐々雄商店、小野寺商店、寺澤呉服店)

2022（令和4）年度寄附者・サポーター等一覧

NPO 法人古川学人にご寄附いただいたみなさま（2022年4月1日～2023年3月31日）

苺部 直 様	手嶋 泰伸 様	井関 純 様
加藤 シゲ子 様	高橋 静江 様	辻山 智信 様
後藤 昇 様	會田 征子 様	小口 晃平 様
高橋 利昭 様	東出 光世 様	黒田 英雄 様
宮崎 継雄 様	吉村 敏之 様	二郷 成子 様
長尾 資 様	諸岡 敏裕 様	諸岡 則子 様
平野 博 様	浅見 定雄 様	長谷川 美子 様
大泉 忠行 様	秋山 真一 様	岩佐 弘一 様
伊藤 千恵子 様	松田 茂 様	永澤 汪恭 様
横山 寛勝 様	佐々木 公明 様	森田 純一 様
磯崎 三喜年 様	加藤 晴彦 様	吉野作造を学ぶ会 様

氏名非公表ご希望 14 件（14 個人）

合計 325,000 円

「みやぎチャレンジプロジェクト」にご寄附いただいたみなさま
（2022年12月1日～2023年2月28日）

団体

フルテック 株式会社 様
株式会社 リフレッシュかむろ 様
有限会社 スペーストライ 様
特定非営利活動法人 ハッピーート大崎 様
株式会社 ダスキンサーヴ東北 ダスキン古川 様

個人

清水 唯一朗 様	武藤 秀太郎 様	佐々木 公明 様
高橋 利昭 様	大和田 雅人 様	平野 兵悦 様
二郷 成子 様	佐藤 憲一 様	高橋 久之 様
氏家 仁 様	佐々木 威 様	

氏名非公表ご希望 11 件（2 団体・9 個人）

合計 502,831 円

2022（令和4）年度吉野作造記念館事業へボランティア協力をいただいたみなさま

高橋 憲夫 様 大崎中央高等学校野球部の皆様 おおさきリンクアクション 様

2022（令和4）年度 YOSHINO サポーター

(株)村田工務所	(株)北都開発	(株)氏家建築設計事務所
(有)若見自動車整備工場	(株)佐藤酸素	(福)賛育会
内藤印刷(有)	(株)チバミン	古川信用組合
(株)美研	我妻建設(株)	
(株)古川ガス	遊山社	(株)池月道の駅
(有)アクセス	(一社)みやぎ大崎観光公社	(有)三塚タイヤ

吉野作造記念館条例

平成 18 年 3 月 31 日

大崎市条例第 132 号

(設置)

第 1 条 吉野作造に関する調査研究を行うとともに、その情報を広く発信することにより、市民の教育及び文化の向上並びに豊かな地域文化の創造に資するため、記念館を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 記念館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
吉野作造記念館	大崎市古川福沼一丁目 2 番 3 号

(休館日及び開館時間)

第 3 条 記念館の休館日及び開館時間は、次のとおりとする。

(1) 休館日 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日に当たる場合は、その翌日)及び 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までの日

(2) 開館時間 常設展及び特別展は午前 9 時から午後 5 時まで、講座室、研修室及び企画展示室は午前 9 時から午後 9 時まで

2 市長は、必要があると認めるときは、前項の休館日若しくは開館時間を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(平 18 条例 323・追加)

(事業)

第 4 条 記念館は、次に掲げる事業を行う。

(1) 吉野作造に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保存及び調査研究

(2) 資料の展示並びにその利用に関する説明及び指導助言

(3) 吉野作造に関することの普及事業及び交流事業

(4) 市民生活と政治に関する学習事業

(5) 前各号に掲げるもののほか、記念館の設置の目的を達成するために必要な事業

(平 18 条例 323・旧第 3 条線下)

(利用許可等)

第 5 条 記念館の施設を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可を行う場合において、管理上必要な条件を付すことができる。

3 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可しないことができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあるとき。

(2) 施設又は設備を損傷するおそれがあるとき。

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、管理上支障を及ぼすおそれがあるとき。

4 市長は、記念館を利用する者がこの条例又はこの条例の規定に基づく規則に違反すると認めるときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を停止することができる。

(平 18 条例 323・旧第 4 条線下・一部改正)

(資料の特別利用)

第 6 条 記念館において、資料の撮影、模写等特別の利用をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

(平 18 条例 323・旧第 5 条線下)

(使用料)

第 7 条 記念館を利用する者は、別表に定める使用料を市長に支払わなければならない。

(平 18 条例 323・一部改正)

(使用料の減免)

第 8 条 市長は、必要があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(平 18 条例 323・追加)

(使用料の返還)

第9条 既に納入した使用料は、返還しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(平18条例323・追加)

(指定管理者)

第10条 市長は、必要があると認めるときは、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)に記念館の管理を行わせることができる。

2 前項の規定により指定管理者に記念館の管理を行わせる場合の当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) 利用の許可、取消し等に関する業務
- (4) 利用料金の徴収、減免及び返還に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

3 第1項の規定により指定管理者に管理を行わせる場合における第3条及び第5条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平18条例323・旧第8条線下・一部改正)

(利用料金)

第11条 前条第1項の規定により指定管理者に管理を行わせる場合において、記念館を利用する者は、利用料金を当該指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、第7条に定める使用料の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

3 利用料金は、当該指定管理者の収入とする。

(平18条例323・一部改正)

(利用料金の減免)

第12条 指定管理者は、あらかじめ市長が定める基準により、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の返還)

第13条 既に納入した利用料金は、返還しない。ただし、あらかじめ市長が定める場合に限り、その全部又は一部を返還することができる。

(平18条例323・追加)

(損害賠償)

第14条 指定管理者又は利用者は、故意又は過失により、記念館の施設、設備、備品又は資料を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

(平18条例323・旧第13条線下・一部改正)

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平18条例323・旧第14条線下・一部改正)

附 則

この条例は、平成18年3月31日から施行する。

附 則(平成18年12月27日条例第323号)抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成31年3月7日条例第1号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(適用区分)

第2条 この条例による改正後の各条例の規定は、他の法令に別段の定めのあるものを除き、前条本文の規定によるこの条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後に利用する日の使用の許可に係る使用料から適用し、施行日前の日の使用の許可に係る使用料については、なお従前の例による。

2 前項の規定は、指定管理者が利用料金を収受する場合について準用する。

(指定管理者の管理に係る準備行為)

第3条 この条例による改正後の各条例の規定による指定管理者の利用料金の承認その他指定管理者が管理を行うために必要な準備行為は、この条例の施行日前においても行うことができる。

別表(第7条関係)

(平18条例323・平31条例1・一部改正)

1 入館料

区分			(1人につき)
常設展	個人利用	一般	320円
		高校生	220円
		小中学生	100円
	団体利用(20人以上)	一般	260円
		高校生	160円
		小中学生	80円
特別展			市長がその都度定める額

2 施設使用料

施設名	時間	単位	営利を目的としない場合	営利を目的とする場合
講座室	午前9時から 午後5時まで	1回2時間以内	1,260円	2,100円
		1回2時間を超え30分増すまでごとに加算する額	420円	620円
	午後5時から 午後9時まで	1回2時間以内	1,520円	2,620円
		1回2時間を超え30分増すまでごとに加算する額	620円	840円
研修室・企画 展示室	午前9時から 午後5時まで	1回2時間以内	2,520円	4,200円
		1回2時間を超え30分増すまでごとに加算する額	630円	840円
	午後5時から 午後9時まで	1回2時間以内	2,940円	5,240円
		1回2時間を超え30分増すまでごとに加算する額	840円	1,040円

備考 暖房設備又は冷房設備を使用する場合には、上記の額に当該額の100分の20を乗じて得た額を加算した額とする。

規則・協定書・要領（URL）

- ・吉野作造記念館条例施行規則（大崎市例規集）
https://www.city.osaki.miyagi.jp/section/reiki/reiki_honbun/r294RG00001129.html
- ・吉野作造記念館の管理に関する基本協定書（吉野作造記念館ウェブサイト）
https://www.yoshinosakuzou.info/_files/ugd/d89d81_74c54c768e03497987315ac3e36db510.pdf
- ・吉野作造記念館資料の取扱要領（吉野作造記念館ウェブサイト）
https://www.yoshinosakuzou.info/_files/ugd/d89d81_a804319dde2244a68296f1f9b314fbd4.pdf

館利用案内

開館時間 9：00 ～ 17：00（入館は16：30まで）

入館料

	常設展	企画展
一般	320円（260円）	500円（400円）
高校生	220円（160円）	300円（200円）
小・中学生	100円（80円）	200円（100円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）、臨時休館日

職員録

2022（令和4）年度

館長 氏家 仁
事務長 佐々木 威
主任研究員 小嶋 翔
学芸員 佐藤 弘幸
総務 本間 明美
総務 大益 三樹子
総務 菅原 暢子

吉野作造記念館年報（2022年度）

2023年5月1日発行

編集・発行 吉野作造記念館

特定非営利活動法人古川学人

〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-2-3

Tel 0229-23-7100 Fax 0229-23-4979

Mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp

<https://www.yoshinosakuzou.info/>

